

小学校高学年の部 【最優秀賞】

何でもできるじじとみみ



安中市立西横野小学校 4年

はしもと かのん
橋本 楓乃音

なんで何でも知っているのだろう…。なんで何でもできるのだろう…。これは、私がじじとみみに関して、いつも不思議に思っていることです。じじとは、私のおじいちゃん、みみは私のおばあちゃんのことです。じじは、もう七十才になるのに筋肉がムキムキで、いつも元気で何にでもきょう味しんしんです。この前、私がブレードボードをしていると

「じじだってできるぞ！やらせてみな。」というので貸してあげたら、すぐに乗れてしまいました。私は何度も練習してやつと乗れたのに…とびつくりしました。グーグルで調べなくても庭にブランコをあつという間に作れるし、ナビを見なくても色々なうら道を知っていて、目的地まですぐに到着できます。何でも知っている何でもできます。それに優しくていつも私をたぐさんほめてくれます。

みみもじじと一緒に何でもできます。お料理がとて上手で、特にハンバーグは、ほっぺが落ちるくらいおいしいです。さいほうも得意で学校で使うふくろも全部みみが作ってくれました。髪の毛のあみこみも上手で、大事な行事の日はいつもみみに髪の毛をきれいにしてもらいます。何でもできていつもすごいなあと思います。

そんなみみがある日、体調を崩して寝込んでしまいました。家族はみんな大騒ぎです。父と母は共働きのので、三人が家に帰って来るまでの間、全てがごちゃごちゃになりました。習い事には行けない、洗たく物は雨でぐちゃぐちゃ、弟は学校にみみが迎えに来ない

と大泣き…。いつもやってくれていることがどれだけ家族を支えてくれているのか本当によくわかりました。よくわかりすぎた分、どれほどみみが毎日大変なのかもわかりました。みみが元気がないと、じじも元気がなくて、みみのことをとても心配しているのがわかりました。

もうすっかり元気ですが、あの日のことをしっかりと心におき、なるべくじじとみみのお手伝いをしてあげようとがんばっています。

お手伝いをして、少しずつ気づいたことがあります。それは、じじもみみもけっこう失敗しているということです。失敗してもそれをうまく直す所がすごいのだと気づきました。何か失敗しても、その失敗を失敗にしないで工夫したり、代用したりする力がじじとみみにはあるのだとわかったのです。何でもできる二人のひみつが少し解明できて、何だかともうれしかったです。

私のじじとみみ。二人が何でもできて、何でも知っていること、とてもほこりに思っています。二人の知っていることを全部知ってみたいです。そして私も二人みたいに失敗を失敗にしない、最強のお年寄りになつてみたいです。じじ、みみ。いつまでも長生きしてください。いつもありがとう。